



記憶をつなぎ
心に寄り添う
メモリーケア

～その方らしさを
尊重した関りが
もたらす笑顔と変化～

サンシティパレス塚口
発表者： 榎 歩
川浦 春香

施設紹介

株式会社

ハーフ・センチュリー・モア

高齢者向けマンション【サンシティ】

介護型有料老人ホーム【サンシティ ロイヤルケア】

全17施設



介護付有料老人ホーム



サンシティパレス塚口

開設 2008.11.1

総居室戸数 619室 介護居室 112室

◎ 作業内容

No.	作業項目	No.	作業項目	No.	作業項目	No.	作業項目
1	申し送り	11	整容	21	事務作業	31	ワークスケジュール
2	環境整備	12	送迎	22	アセッサー	32	休憩
3	食事介助(Mケア)	13	ご入居者対応	23	キャリアラダー OJT	33	退勤準備
4	水分補給・おやつ	14	ご家族対応・面会	24	スタッフ面談	34	個別介護計画書作成
5	排泄介助(Cケア)	15	医療・処置	25	内部・外部研修	35	特別対応
6	入浴介助	16	服薬管理・確認	26	ケア記録	36	
7	起床・就寝介助	17	受診付き添い	27	他部署への調整と連携	37	
8	見守り	18	シーツ交換	28	カンファレンス	38	
9	情報収集	19	洗濯	29	ミーティング、委員会	39	
10	レクリエーション	20	物品管理	30	役割、各係業務	40	

◎ 月間作業時間数(1日～31日までの項目別集計)

(単位:h)

1	計画時間数	実績	Nb.	計画時間数	実績	Nb.	計画時間数	実績	Nb.	計画時間数	実績	Nb.	計画時間数	実績
1			11	35:00	29:45	21	36:45	34:00	31	1:00	1:30			
2	249:15	246:30	12	34:15	30:45	22			32	651:15	651:15			
3	603:45	611:45	13	457:45	503:00	23	250:45	298:00	33	27:00				
4	241:00	235:15	14	31:45	26:15	24		4:45	34					
5	549:45	554:15	15	94:15	101:15	25	7:30	12:45	35	6:00				
6	462:15	448:45	16	59:30	53:30	26	217:00	204:45	36					
7	571:00	546:30	17	56:15	38:15	27	56:00	47:15	37					
8	149:45	143:30	18	51:15	50:15	28	141:15	147:45	38					
9	162:15	163:00	19	34:30	37:00	29	13:45	32:45	39					
10	259:45	254:30	20	15:00	14:30	30	297:15	288:30	40					
										総時間数				
										計画	実績			
										5817:45	5817:45			

削減

還元

月平均

-140時間

◎ 上記集計から分る事と問題・課題

①Hケアが前回の目標値10%⇒今回8%との結果になっている。前回と同様に目標値には届いておらず。見直し、ゆったりと入浴できる環境調整を行っていく。

②内部・外部研修については10.2%と低い数値である。定期の勉強会の実施はできているが、10月の勉強会は通常のものではなく10月の事例発表のアウトプットの場としたことや、他部署や他施設研修についてはマンパワー不足の中で実施できていなかった事、勉強会等録画し全スタッフが視聴できるように夜勤中に視聴している部分も多く低い数値となった。

③キャリアラダーOJT数値が5%と前回より4%高い数値となった。特定技能実習生や4階フルオープンに伴い人員確保が急ピッチの状態であり育成の為にOJT数値が上昇している。

④退勤準備の為に、フロア内の体制を整備し実行に繋げる。

☆ 今後の修正・対策

<自施設の強み>SCP塚口の強みは【10】と【13】に注力している。
【10】目標値が2%⇒実績4.3%前回の数値より0.2%の増加【10】は毎月のイベント行事関係もあるが、4%以上の数値を保てるように行事のバランス調整や余暇時間の活動の強化施設目標値4.5%に対して実績4.3%

【8】の内容を精査し、2.4%⇒2.0%へ削減を目指し一人5分程度の時間を【10】に改善を行う。
【13】自施設目標値が9%に対して現在8.7%項目【2】【8】の時間を0.2%削減(1日一人約5分程)スタッフ1人当たり、4～5分多くかかわりを持つようにお客様との向き合う時間を大切に取り組んでいく。

<自施設の課題>

【6】の見直し、実績8%⇒目標値10% 現状のHケアの内容を確認し効率的な部分とリラックスして頂ける部分を明確化し効率重視にならないように対策を行う。

【25】実績=0.2%程度 目標値2%=1日 1人/10分程度必要 夜間帯の活用/タイムリーに伝えたいことなど共有できおりケアサービス課内の勉強会開催は継続して行っている。他部署や他施設研修はマンパワー不足の中で、今後も人員が整い次第研修を増加、スタッフのスキルアップに努める。実績の入力についてはWSIに事前に時間を確保継続して日勤リーダーが退社前にチェックなどし、記入漏れがないか確認をしていくことで実績の精度を上げていく。

【23】4Fフルオープンに伴い人材確保が急ピッチで必要。育成の為にOJTの増加は必要であり、人員が整い次第、お客様へ還元していく。

【33】退勤準備の為に、フロア内の体制を整備し、11月より10分前ルールを開始する。

パーソナルレクからケアへ進化

Befor : パーソナルレク



趣味や得意な事をもとに実施

もっと深くその人を知りたい



こうすれば変わるかも! ?

After : パーソナルメモリーケア



生活史に寄り添い 日々のケアへ繋ぐ

メモリーケアの目的

An illustration showing a group of elderly residents and staff members sitting around a long table. They are looking at and pointing to various photo albums and memory books spread out on the table. The scene is set in a well-lit room with wooden walls and floors. There are small vases with flowers on the table. The overall atmosphere is warm and focused on memory care.

認知症を有するご入居者が「自分らしく」生きることを大切に
日々の生活の中で意味や「役割」を感じられるよう
価値観や経験を尊重し、出来ることに目を向け
喜びや思い出に触れ安心して過ごせる環境を目指す

取組方法

Step 01

パーソナルレクシー

ご入居者全員分を
スタッフが作成

K様	生年月日 1927	身体状況・補助具など 歩行器使用	レク参加状況 お誘いすると参加して下さる ・健康体操 ・工作レク ・季節のイベント ・音楽レク	レク費用確認について ご家族様へ確認必要
	介護度 要介護2			
出身地・職歴 料理教室の先生				
誕生～幼年期	二人姉妹の妹。		趣味・特技	料理・ピアノ
少年期	折り紙・あやとり・ゴム飛びでよく遊んだ。鶴がおれる。姉がすごくかわいいがってて、おはじきなど一緒にしていた。友達と学校に行くのが楽しかった。お互いの家のも遊びに行っていた。小さいころお父様の仕事で海外に住まっていた算数が好きで国語が嫌だった。		性格・特徴	プライド高くこだわりが強い 人見知りだがお話しすることはお好き
青年期	ピアノを習いに行っていた。ヴァイオリンも少しだけやっていた。お子様ランチやカレーなど子供が好きそうなメニューはあまり好まなかった。ワンピースかスーツを来ていることが多かった。		好きな事	料理・おしゃべり・ピアノ・お花
壮年期	子育てでのお母さん家庭料理を教えた。人に教えることが好きで教えたことが一杯だった。25～26歳ごろに結婚。ご主人は年上で頭良い人で色々教えてもらった。東大を卒業している人じゃないと嫌で、ご主人は東大の工学部をご主人は卒業。子供達には優しく接していた。ある程度することはしたけど、自分もしたいことをしていた。先輩が苗をくれてガーデニングもした。レコードで音楽をきくのも楽しかった。		嫌いな事	国語
中年期	60歳まで料理教室の先生をしていた。生徒は30～40人程度。		夢・希望	おいしいものが食べたい
高年期	やっぱり家族が一番大切。		その他	ご自身から他の方へお話しすることはないが他の方やスタッフが話しかけるとお話続きコミュニケーションは良好



集中度を観察
変化を調査



倫理的配慮

本事例の紹介にあたっては

ご本人・ご家族の意向を尊重し

個人が特定されないよう十分に配慮しています。

実際の取組

【ご自身のレシピ本より一品作る】

思い出の味『土瓶蒸し』を
レシピを見て確認



【自分の好きな時間に本を読みたい】

景色を見つつお茶をしながら
ゆっくりした空間で私の時間を楽しむ

【編み物で一品作りたい】

日中の余暇時間に
スタッフと編み物を一緒にする



【自分史を作りたい】

過去の写真を思い出話をしながら
アルバムに貼りつけ・飾り付けをする

【南京玉すだれを皆の前で披露したい】

歌詞を思い出し一つずつ
玉すだれの技を練習する



【ラーメンが食べたい】

個別の嚥下体操を行う
手指を動かすことにより
刺激を与え活動量を増やす

事例紹介



K様 98歳 女性

コミュニケーションは取れるが自発性は少ない

元料理教室講師

今度あなたたちへ、御馳走して

目標：ご自身のレシピ

当日は家族様を招待

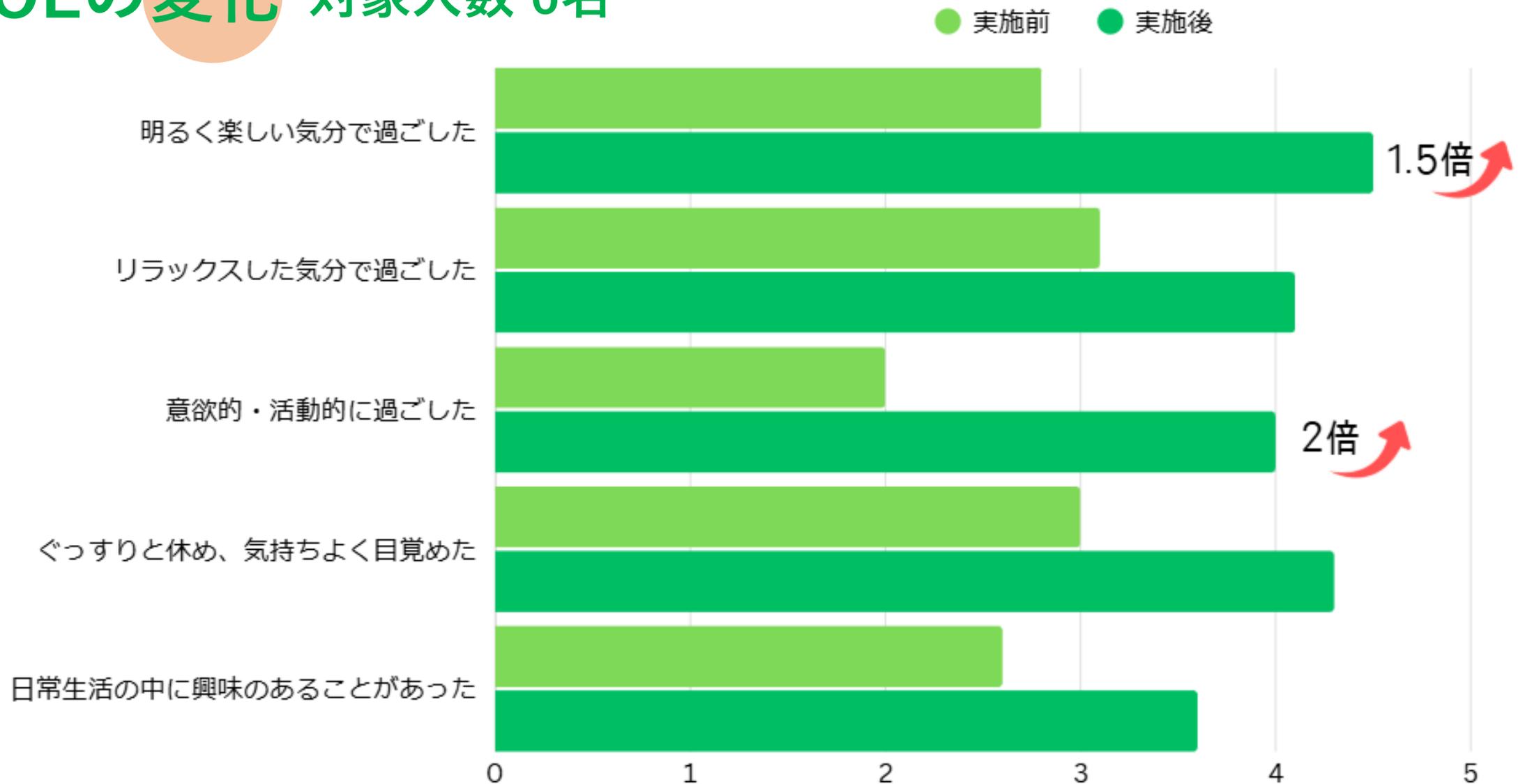
切り方や飾付にもこだわる



- 椎茸の飾切り動画の視聴
- ハサミでチラシを切る練習
- レシピの確認

など

QOLの変化 対象人数 6名





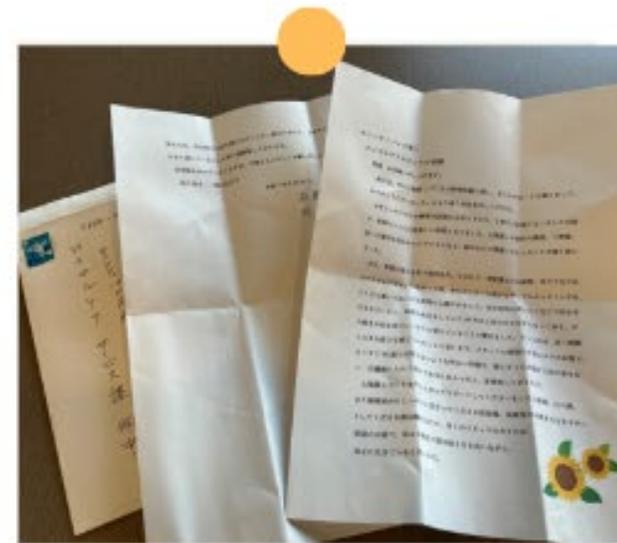
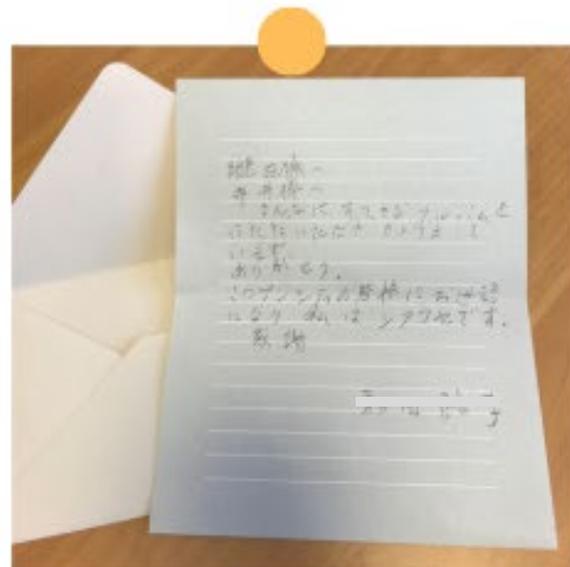
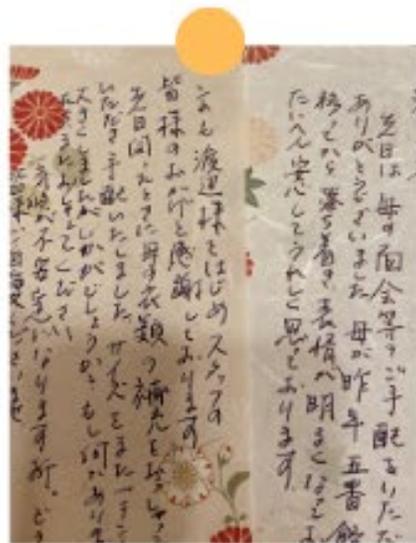
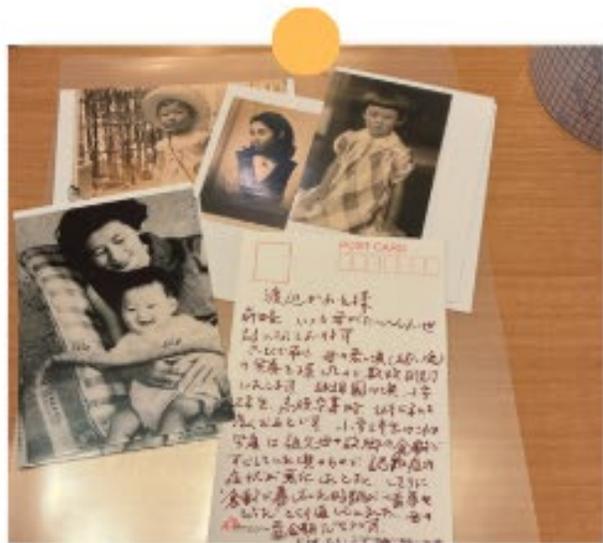
ご入居者からの感想

家族からの言葉

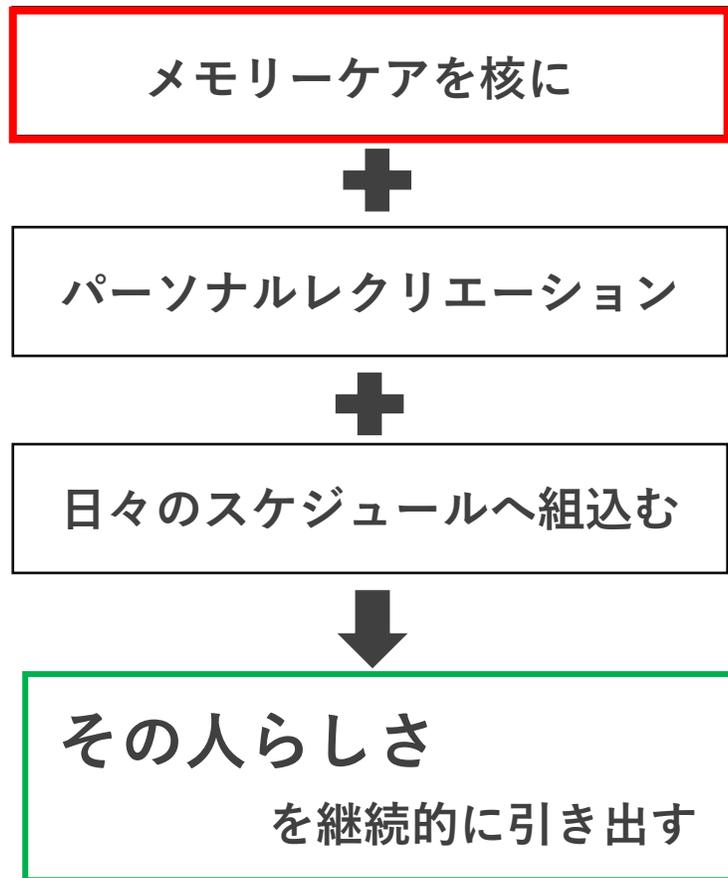
「表情が明るくなった」「安心して任せられる」



スタッフの大きな励み



おわりに ～安心と信頼を築く為に～



メモリーケアの本質



今回の取組でご入居者のQOL向上を認めた

今後の課題

メモリーケア指針の策定



一部のスタッフで終わらせず
全体でその人らしさを守り抜く



おわりに ～認知症ケアの鍵～

「メモリーケア」は認知症ケアにおける大切な鍵
一人ひとりに寄り添い笑顔と変化を繋ぐケアを継続

参考文献

1) 飯干紀代子

『メモリーブックの活用法ー効果ある認知症の人とのコミュニケーション』
三輪書店2021年

2) 繁田雅弘.服部万里子.他 『151人の名医と介護プロが数える認知症大全』
小学館.2023年